

科 目 名	教育方法論				
配 当 学 年	2 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	今井 順一		単位認定責任者	今井 順一	
実務経験の有無					
実務経験のある教員名および授業の関連内容					
授業科目の概要	<p>21世紀という変化の激しい時代を乗り越えるため、生徒は問題発見・解決能力の獲得が求められ、そのため学校には、「主体的・対話的な深い学び」に呼応した学習形態の積極的な導入が求められている。そのため、従来の一方通行型の授業形態のみならず、アクティブラーニング型の授業等が求められている。そのためICTの効果的な活用も求められている。eラーニングや遠隔授業等のインターネットを利用した学習方法、電子黒板やデジタルペンと言った学習デバイス、グラフィックスやアニメーションを使った学習コンテンツなど、ICT活用による授業の取り組みは、生徒の授業への興味関心を高め、学力向上につながることを期待されている。</p> <p>この授業では、ICT活用や新しい授業形態等を俯瞰した授業デザインや指導法の方略を通じた、教育方法の概観の習得を図る。</p>				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代教育および教育方法の動向について説明できる 2. 様々な学習・授業形態の特徴について説明できる 3. 様々な学習・授業形態の指導法について説明できる 4. ICTを活用した学習・授業形態について説明できる 5. 基本的なデジタル教材を作成できる 				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	60 %	レポート（50）・プレゼンテーション（10）		
	倫理観	10 %	レポート（5）・プレゼンテーション（5）		
	主体性	10 %	プレゼンテーション（10）		
	論理性	10 %	レポート（5）・プレゼンテーション（5）		
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	10 %	プレゼンテーション（10）		
	責任感	%			
授業の展開					
1.	教育方法論の意義と目的				
2.	現代教育の動向				
3.	様々な授業形態（1） アクティブラーニング型授業				
4.	様々な授業形態（2） I 反転学習				
5.	様々な授業形態（3） ICT活用型授業				
6.	様々な授業形態（4） 遠隔型授業				
7.	デジタル教科書				

8.	授業デザイン				
9.	教材研究				
10.	デジタル教材の設計				
11.	デジタル教材の作成（分析）				
12.	デジタル教材の作成（設計）				
13.	デジタル教材の作成（開発）				
14.	デジタル教材の評価（発表）				
15.	デジタル教材の評価（発表）				
授業外学習について	1. 配布された学習資料・や補足資料などを見直し、学習内容との関連を理解して、対応する課題に取り組むこと。 2. 最新の教育事情（学校での出来事、各種教育関係情報、教育行政など）に関心を払い、関係する書籍・新聞・テレビ・ラジオ等をよく視聴すること。				
教科書	必要に応じてプリント等を配付する				
参考文献	授業の際、指示する				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	○	○	×
成績評価の割合	0 %	0 %	60 %	40 %	0 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項					

（教育方法論）